

# 第4章

## データ送受信

- ・ 4-1 通信設定
- ・ 4-2 データ送信
- ・ 4-3 データ受信
- ・ 4-4 USBキー保存
- ・ 4-5 USBキー復元

## 4-1 通信設定

### 【データ送受信】—【通信設定】

データ送受信を行うために必要な通信 ID とパスワードを設定します。この設定によりインターネット上のデータ中継サーバーを利用することができるようになります。この設定はデータごとに行います。

#### ■通信 ID

半角英数 12 桁で設定します。会計事務所と関与先が送受信をする場合は、関与先の USB キーに組み込まれた通信 ID を設定します。

#### ■USB から取得する

挿入中の USB キーに組み込まれた通信 ID を読み込んでセットする場合に使用します。

#### ■パスワード

半角英数 6 桁以内で設定します。パスワードの設定がないとデータ送受信ができません。また、USB キー保存はパスワードがなくても実行されますが、セキュリティを高めるために設定することを推奨します。

## 4-2 データ送信

### 【データ送受信】-【データ送信】

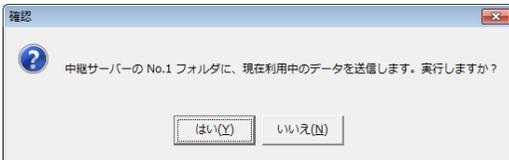
選択中データをインターネット上の中継サーバーに送信します。あらかじめ【データ送受信】-【通信設定】を行う必要があります。

### データ送信手順

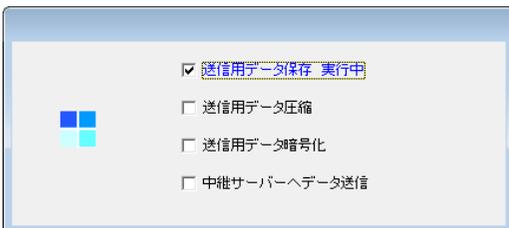


- ①データ送信メニューで送信先のフォルダ (No.1～No.10) を指定し「F12:実行」ボタンを押します。

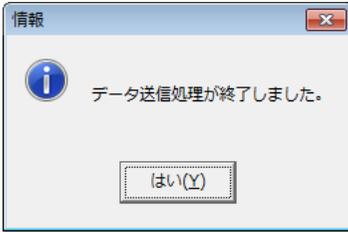
※既に送信済みの領域を指定することも可能です。



- ②確認画面が表示されます。「はい」を押します。



- ③送信処理が始まります。

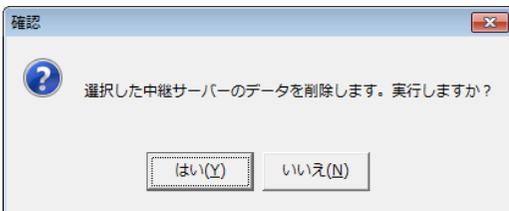


④送信完了のメッセージが表示されます。

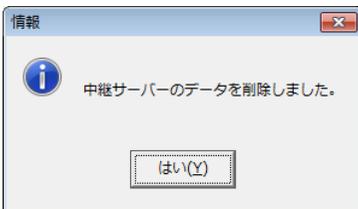
## データの削除



①削除するデータを選択し「F5:データ削除」ボタンを押します。



②確認画面が表示されます。「はい」を押します。



③削除完了画面が表示されます。

※削除したデータは復活できません。

## 4-3 データ受信

### 【データ送受信】-【データ受信】

インターネット上の中継サーバーにあるデータを受信し、選択中データの領域に復元します。あらかじめ【データ送受信】-【通信設定】を行う必要があります。

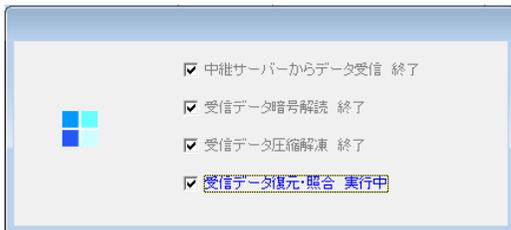
### データ受信手順



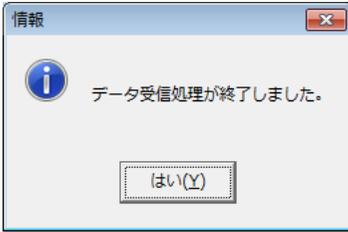
- ①データ受信メニューで受信するデータのフォルダ (No.1～No.10)を指定し「F12:実行」ボタンを押します。



- ②確認画面が表示されます。「はい」を押します。



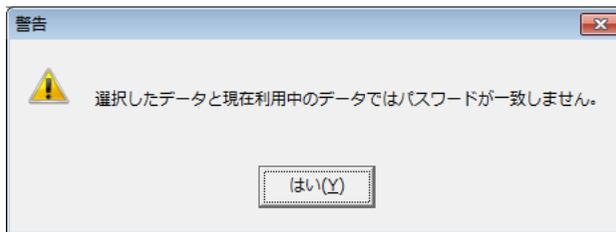
- ③受信処理が始まります。



④受信完了のメッセージが表示されます。

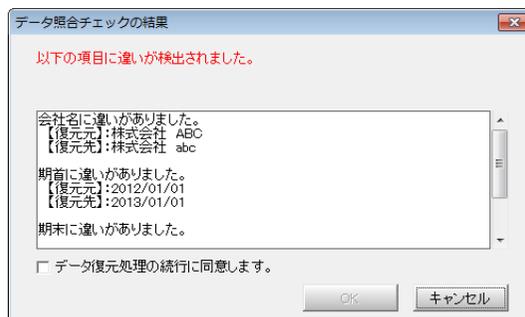
### 通信設定のパスワードが違う場合

選択中データの通信設定に設定してあるパスワードと、受信データに設定してあるパスワードが異なる場合は、次の警告メッセージが表示し受信できないようになっています。



### 会社名や会計期間等が違う場合

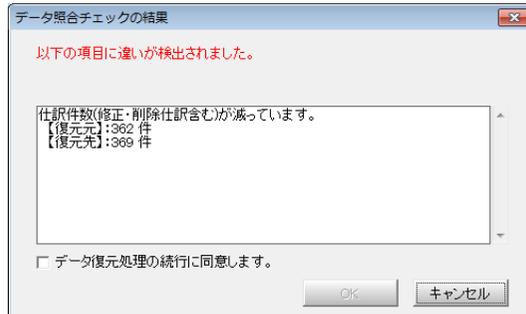
会社名、期首／期末年月日などに相違がある場合には、データ照合チェックで検出され、復元処理を行うかどうか確認画面が表示されます。「データ復元処理の続行に同意します」にチェックを付けると処理を進めることができます。



## 受信データの方が仕訳件数が少ない場合

選択中データの仕訳数よりも受信データの仕訳数が少ない場合は、データ照合チェックで検出され、復元処理を行うかどうか確認画面が表示されます。「データ復元処理の続行に同意します」にチェックを付けると処理を進めることができます。

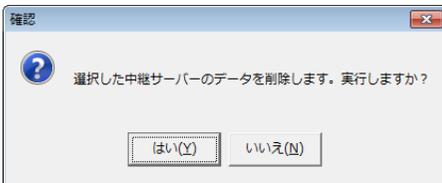
※受信データの仕訳数が多い場合には検出されません。



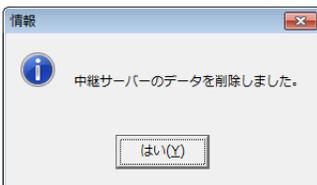
## データの削除



①削除するデータを選択し「F5:データ削除」ボタンを押します。



②確認画面が表示されます。「はい」を押します。



③削除完了画面が表示されます。

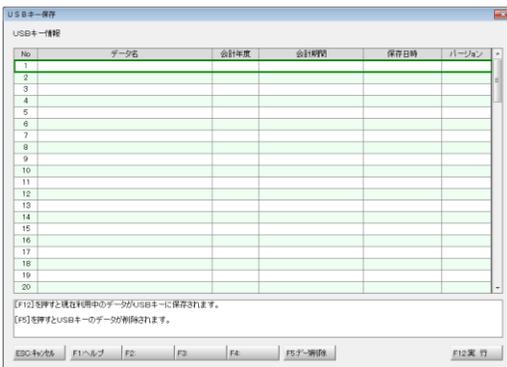
※削除したデータは復活できません。

## 4-4 USBキー保存

### 【データ送受信】-【USB キー保存】

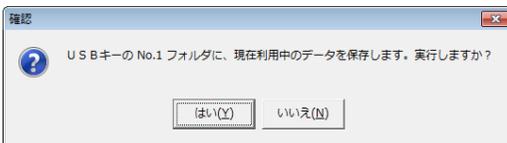
選択中データをUSB キーに保存します。最大 100 データ保存することができます。【データ送受信】-【通信設定】をしていなくても保存することはできますが、セキュリティを高めるためにパスワードを設定することを推奨します。

### USBキー保存手順

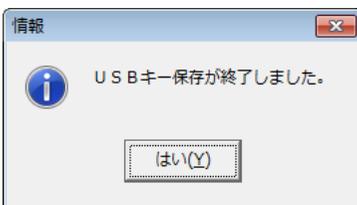


- ① USB キー保存メニューで保存先のフォルダ (No.1 ~ No.100) を指定し「F12: 実行」ボタンを押します。

※既に保存済みの領域を指定することも可能です。



- ② 確認画面が表示されます。「はい」を押します。



- ③ 保存完了のメッセージが表示されます。

## 4-5 USBキー復元

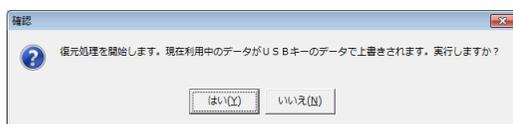
### 【データ送受信】—【USB キー復元】

USB キー保存されたデータを選択中データの領域に復元します。あらかじめ【データ送受信】—【通信設定】を行う必要は必ずしもありませんが、USB キー保存時点でパスワードが設定されていると、復元時にも同一のパスワードが設定されている必要があります。

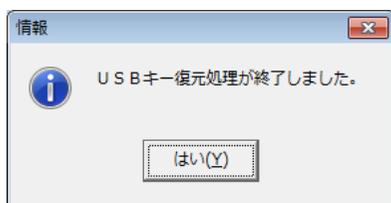
### USBキー復元手順



- ①USB キー復元メニューで復元するデータのフォルダ (No.1 ~ No.100) を指定し「F12: 実行」ボタンを押します。



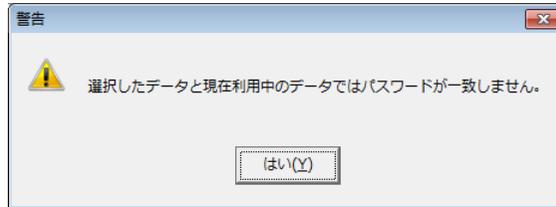
- ②確認画面が表示されます。「はい」を押します。



- ③復元完了のメッセージが表示されます。

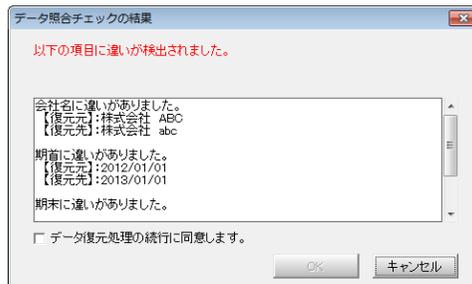
## 通信設定のパスワードが違う場合

選択中データの通信設定に設定してあるパスワードと、USB キー復元時に指定したデータに設定してあるパスワードが異なる場合は、次の警告メッセージが表示し復元できないようになっています。



## 会社名や会計期間等が違う場合

会社名、期首／期末年月日などに相違がある場合は、データ照合チェックで検出され、復元処理を行うかどうか確認画面が表示されます。「データ復元処理の続行に同意します」にチェックを付けると処理を進めることができます。



## 復元するデータの方が仕訳件数が少ない場合

選択中データの仕訳数よりも復元するデータの仕訳数が少ない場合は、データ照合チェックで検出され、復元処理を行うかどうか確認画面が表示されます。「データ復元処理の続行に同意します」にチェックを付けると処理を進めることができます。

※復元データの仕訳数が多い場合には検出されません。

